

核兵器廃絶署名「赤紙」配りなど12月各地の取り組み

12月8日の太平洋戦争の開戦日には、みなさんのご協力により朝日新聞県内版に「子供たちのために核兵器のない世界を！」の意見広告が掲載されます。ご支援ありがとうございます。

この忘れてはいけない12月8日を前後して各地で「赤紙」配りや核兵器廃絶を求める署名活動が各地でおこなわれます。他団体も含めわかる範囲でお知らせします。

★ 勝田駅：12月8日、7：00～8：00 ひとचनाか母親連絡会・平和の会・9条の会・新婦人で「赤紙」配布宣伝。

★ 潮来市、スーパーセイミヤ前：12月9日、18：00～19：00 平和委員会・鹿行労連・鹿行民商・鹿行農民

組合など。定例化した核廃絶署名行動です。

★ 土浦駅：12月8日、13：00～14：00 母親連絡会に平和委員会など各団体が協力。「赤紙」配布宣伝。

★ COOP土浦店前：12月23日、11：00～12：30 「核兵器廃絶を求める土浦地域連絡会」定例化した核廃絶署名行動です。

★ 水戸駅：12月8日、12：00～13：00 民医連が中心の「憲法改悪反対茨城県共同センター」主催の核廃絶署名行動。

★ 取手駅：12月6日、13：00～15：00 「革新懇」その他協力団体が核廃絶署名行動。

★ 取手駅：12月8日、15：00～16：00 母親連絡会・新婦人などで「赤紙」配布宣伝。

語り継ごう、二度と戦争をしない平和な心を！

下級兵士と障害者

鈴木宏哉(水戸市大場町)

今年の夏、つくば市で「全国障害者問題研究会第43回全国大会」が開かれました。地元の会員をはじめ、県内のいろいろな障害者団体との共同で、取り組みました。全国から2,000人が集いました。

主催者として、わたしは「三点の贈りもの」をメッセージに盛り込みました。

一点目は、43年前にこの会（「全障研」）発足当時、遠い目標と思われた「障害者の権利保障、発達保障」が、苦難の道乗り越えて、いま目の現実的な課題となってきたこと、二点目は、この大会の成功を支えているのは、県内の多くの障害者の「ねがい」に、しっかりと軸足を置いているからだということ、まず挙げました。

そして三点目には、茨城においてこの大会を開く特別の意義があることを、挙げました。美しい筑波山をかかえる茨城の地が、万葉時代の防人から先の日中戦争・太平洋戦争にいたるまで、ほかにもまして大勢の兵士、とりわけ下級兵士を送り出し、その結果として、数えきれない戦死者を始め戦争被害者を

繰り返し生み出してきました。身内に、戦死者や戦傷者、戦争で青春を奪われた人たちがいない人はいないといってもいいほどです。戦争で精神障害を発症し、非人間的な扱いを受けた若者が茨城出身者に何人もいます。障害者は戦争に役立たない「殺つぶし」だと、「非国民」扱いを受け続けたことも指摘しました。こうして戦争が障害者を生み出す最大の原因であり、戦争は障害者の生きる道と決して両立しえないこと、8月9日の長崎原爆の日と大会と同じ日に開催される時、障害者は核戦争につながるすべての動向を、けっして黙視することはできないことを、歓迎メッセージの結びとしました。

約10年ほど前、私は信州上田の長野大学に通勤していました。新入生担当のゼミで、21世紀にはいる直前だったので、「20世紀—戦争の世紀—を振り返る」というテーマにしました。いま手許に、みんなの分担でまとめあげた記録集があります。課題の一つが「戦争を生き抜いた人たち—聴きとり記録—」でした。長野県出身の一学生が、「毎日新聞茨城版」をたよりにレポートしておりました。聞き取りした佐久市のAさんという方

お詫び

過日、県平和委員会が取り組んでおります新聞意見広告賛同の要請文で、アメリカ大統領は、「今年4月、日本に原爆を投下したのは過ちであった。道義的責任を感じると、プラハで演説しました。」とある記述は誤りでありますので削除・訂正させていただきます。「プラハ演説」を直接あたらず確かめないという言い訳の効かない初歩的な誤りで、会員のみなさんにご迷惑をかけました、平和委員会の名を傷つけた事に事務局長の責任として深くお詫び申し上げます。

事務局長 伊達郷右衛門

が、その新聞の切り抜きを持っていたのです。日中戦争に従軍した一兵士が書きつけた日誌をもとに同僚が出版物にしたという記事。その一人が茨城県出身だった。その記事をもとに、学生は「戦争の実態」と、聞き取りした元兵士が訴える「戦争の無情さ、むなしさ、悲惨さ」を、聞き出しています。（記録集の残部あり。頒布可）

私の兄は、西ニューギニアで1944年に「戦病死」しました。23歳でした。伝えられたのは2年後の1946年になってからでした。帰還した同郷の元兵士は、最後を何も語ってくれませんでした。

故郷山形で、この12月5日から数日間「県人3559人戦没。西ニューギニアで死に果てた兵士たち」の写真展を開催するとの便りをもらいました。山形県も茨城と同様に、大勢の下級兵士を送り出し、遺骨も戻らなかったケースがたくさんあります。水戸市でも、同じ道を歩まされて帰還した方々の、話を聞く会がもたれると聞いています。

戦争体験者がすっかり少なくなるなか、いまいつそうこのような機会を大切にしたいものです。(09.12/4)

平和かわら版

No. 550

平和新聞茨城版

2009.12.5

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



『戦争と平和を考える旅』

常陸太田平和の会 白田 義昭

常陸太田平和の会は11月8日『戦争と平和を考える旅 in 靖国神社』を実施した。(参加者25名)二度と戦争を繰り返してはいけないということを誓い、平和の重要性と生きることの大切さを再認識した旅である。

まず、「東京の戦争遺跡を歩く会」の平和案内人、長谷川順一さんの説明を受けながら靖国神社を見学、靖国神社は1869年6月29日に現在の千代田区九段北の歩兵練兵場跡に創建し、戊辰戦争の官軍側戦没者を祀った東京招魂社が起源で1879年6月4日別格官幣靖国神社と改称した。

靖国という社号は「国を靖(安)んずる」(典拠は『春秋左氏伝』巻第6僖公中)という意味で、戦没者合祀数2,466,427柱。(2003年10月17日現在)

広大な境内には、日本一の第一鳥居、社号標、清国の獅子、大村益次郎の銅像など、多くの戦争遺跡を見ることができる。

又、毎年気象庁がソメイヨシノの開花を発表する元木を含めた約600本の桜並木も見事です。



昼食は、遊就館内の茶寮で「海軍カレー」と「海軍コーヒー」を食し、少しだけ明治時代を味わいました。

午後は遊就館内を見学。ここは戦跡収集品など約10万点に及ぶ収蔵品が展示されている。

その後、1959年に創建された千鳥ヶ淵戦没者墓苑に移動。この墓苑は第2次世界大戦で海外で死亡した日本の軍人・一般人のうち身元が不明の遺骨を安置するために建てられたもので、352,297柱(2007年5月現在)が六角堂内の納骨堂に納められている。

最後に、九段南にある戦傷病者資料館の「しょうけい館」を

見学。戦傷病者とその家族の労苦を知り語り継ぐという趣旨から「承継」を館名にしたという。

さまざまな証言、歴史的資料や情報を収集、展示し、後世代の人々に知る機会を提供する国の施設になっている。

戦後64年の歳月が過ぎたが、悲惨な戦争の教訓を風化させることなく次の世代に継承し、世界の恒久平和の確立のため全力を尽くす思いを新たにされた有意義な一日となりました。

女子高校生の応援を受けた 街頭行動！！

11月の「9の日」の行動は
勝田駅でPM4:30～5:30の1時間。

ひたちなか
「九条の会」

◎「オジちゃん」手伝ってもよいでしょうか？女子高校生3人が近づいて来ました。……「エー」「ハー」…お願いします。これ宣伝用のカードの配布をしてもらいたいです。

◎ひたちなか「九条の会」は05年3月10日に「準備会」を3人で発して、05年8月9日第1回目の街頭宣伝を「長崎屋」前で、旗・看板・ハンドマイク・署名・憲法カード配布を行って、4年目にして、初めて女子高校生3人の「飛び込み」での宣伝行動の応援を受けました。若々しく、明るい宣伝行動になったのはもちろんです。

◎帰り際に「オジちゃん、また応援するからね」と…。力強く大きな励ましとなりました。

ひたちなか「九条の会」ニュースより

<事務局より>

★ ワインのご注文ありがとうございました。お届けは16日～20日になります。クリスマスは輸入物でなく本場のワインでおすすめ下さい。

★ 12月15日号の「平和かわら版」は12月25日号と1月5日号が合併号のため、22日に発送させていただきます。

<九条の会・水戸>

創立2周年記念講演と総会

と き：12月13日(日)午後1時30分～3時30分

ところ：県青少年会館 3F中研修室

テーマ：「鳩山新政権のもとでの憲法9条運動の行方」

講師：谷萩陽一さん(弁護士)

講演終了後、総会を開きます。

<美和・緒川平和の会>

望年会を開催します

と き：12月12日(土)午後6時30分

ところ：ふるさとドライブイン(0295-56-2010)

会費：男性2,500円 女性2,000円

11/30現在、目標600名(会員一人当たり20名)のところ336名です。

※核兵器廃絶署名の集約をしますので、当日持参願います。

<九条の会・ゆうき>

平和講演会のお誘い

と き：結城市中央公民館

ところ：12月20日 午後1時

テーマ：「マスコミと憲法九条」

講師：仲築間卓蔵氏 (マスコミ九条の会の呼びかけ人)

<内原・友部平和の会>

12月恒例の学習会と忘年会

と き：12月23日(水・祝日)午後1時から

ところ：内原町中央公民館

学習：「内原・友部平和の会のあゆみ」

お話しする人：飯村 一雄さん

年忘れ忘年会：場所をかえて午後3時から。雑談・交流・かくし芸あり。